

怒 入管法改悪強行



入管法改悪案の参院法務委員会採決に採決、撤回！と怒りの声を上げる人々 8日、国会図書館前

差別の歴史終わらせよう

根拠崩壊しているのに

入管法改悪案が9日の参院本会議で、自民・公明・維新・国民の賛成で成立しました（共産・立民・れいわなど反対）。2021年度に廃案に追い込まれたものとはほぼ同じ内容。外国人の人権侵害を拡大し、命を危険にさらす暴挙です。法案の根拠も崩壊していました。

①法改悪の「理由」は、日本に留まろうとする外国人が難民申請を乱用、「送還忌避者」が後を絶たないというもの。その根拠が柳瀬房子難民審査参与員の「（申請者の中に）難民がほ

とんどいない」という発言。ところが発言に根拠がなかったことが次々明らかになりました。

②名古屋入管で亡くなったスリランカ女性。医療改善は法案提出の前提でした。ところが大阪入管の常勤医師が酩酊（めいてい）し外国人を診察していた事実が発覚。医療改善に真っ向から反する事態です。

入管行政の源流には戦前の植民地支配があります。いまこそ差別の歴史を終わらせ、外国人との共生の道に踏み出す時です。



訴える志位和夫委員長（中央） 3日、横浜市中区

悪政4党連合に審判を「もとから変える」党を

解散・総選挙

共産党は総選挙での躍進に向け、遊説をスタート。志位和夫委員長は、日本の政治を「もとから変える」党——共産党が伸びてこそ、平和と暮らしの切実な願いを実現できると語り、「総選挙で日本の世直しの、のろしを上げよう」と訴えました（3日、横浜市）。

国会では、日本の進路を左右する悪法が自民・公明・維新・国民の「悪政4党連合」によって強行されています。志

位氏は「真正面から対決しているのが共産党。推進勢力には審判を」と強調。そして、日本の政治には他のどの党も言わない「二つのゆがみ」があるとして、「財界のもうけ最優先」「アメリカいいなり」の下での大軍拡を指摘。「このゆがみを『もとから変えて』国民が主人公の日本を」と呼びかけました。

日本共産党

保険証廃止やめ仕組み見直せ

マイナカードに別人の医療情報登録7300件以上。公金受取口座に別人がひも付けられ、給付金が本人に届かない恐れ——保険証廃止などを定めた改定マ

イナンバー法が国会で成立した後トラブルが続出しています。

システムの欠陥が「マイナカード普及ありき」の暴走の下で一気に噴出。しかも政府はこれらのトラブルを2月まで把

握しておきながら、法案の衆院通過まで隠していました。



JNN世論調査（4日）では「マイナカードの活用に不安」が72%、「朝日」調査（5月29日）では保険証との一体化に55%が反対でした。2024年秋の保険証廃止は中止し、仕組みのあり方を全面的に見直すべきです。